

## ■中学入試大改革で広島県の総志願者数大幅増！ 前年比111%■

### ■「広島男女御三家」は前年並みも併願校数が増加

2020年度の入試では、広島市の中高一貫の国立・公立・私立中学校は全15校（広大附属・市立広島・広島学院・修道・広島城北・崇徳・ND清心・広島女学院・安田女子・比治山女子・山陽女学園・広島なぎさ・AICJ・広島国際学院・ひろしま協創）が生徒募集を行いました。この15校の2020年度中学入試総募集定員は2,200名、この定員枠に対して合計7,992名が出願（エリア外で会場入試を行ったAICJ中自己推薦入試を除き、複数回入試を実施した中学校の重複出願者を延べで計算）。前年の出願者数7,200名と比較して792名増加し、前年比で111%、2年連続の志願者増となりました。

2019年度入試での志願者増には新設校の影響が大きく関わっていました。広島県立広島叡智学園中（広島市外）、広島国際学院中（中学を新設）、広島修道大学ひろしま協創中（修大附属鈴峯女子が共学化）の3校が新たに募集を行い、3校の志願者数は777名で結果的に前年比205名増となりました。

2020年度入試では新設校の募集はなく、前年と同条件で792名の増加です。右表の通り、志願者が減少したのは広島女学院中26名、崇徳中30名、AICJ中本校入試15名、市立広島中34名の4校で、微減の幅に収まっています。一方で、安田女子中411名、比治山女子中87名、修大ひろしま協創中88名、広島なぎさ中85名、広大附属中53名、広島国際学院中52名など多くの学校が大幅に志願者を増やしました。

果たしてこの志願者大幅増の背景には何があるのでしょうか。

### ●2020年と2019年の志願者数比較

学校名	2020	2019	増減	
広島学院中	648名	644名	+ 4名	
修道中	931名	902名	+ 29名	
ND清心中	570名	546名	+ 24名	
広島女学院中	715名	741名	▲ 26名	
広大附属中	男子	592名	604名	▲ 12名
	女子	482名	418名	+ 64名
広島なぎさ中	男子	362名	301名	+ 61名
	女子	267名	243名	+ 24名
AICJ(本校入試3回)	364名	379名	▲ 15名	
修大ひろしま協創中	241名	153名	+ 88名	
広島国際学院中	301名	249名	+ 52名	
広島城北中	590名	567名	+ 23名	
崇徳中	165名	195名	▲ 30名	
安田女子中	834名	423名	+411名	
比治山女子中	232名	145名	+ 87名	
山陽女学園中(全)	187名	145名	+ 42名	
市立広島中	511名	545名	▲ 34名	
県立広島中	912名	799名	+113名	
県立叡智学園中	285名	375名	▲ 90名	

広島市は古くから中学受験が盛んな土地柄です。前身が藩校で約300年の伝統を持つ修道中を筆頭に、創立100年を超える広島女学院中、国立大附属の広大附属中、さらに戦後派の学校でありながら着実に地域に根ざして多くの俊英を世に輩出してきた広島学院中とND清心中の5校が中心になりながら、その他多くの優れた私学が中高一貫教育を実践しています。

総志願者数が大幅に増えた 2020 年度入試では、俗に「広島男女御三家」と称される広大附属中・広島学院中・修道中・ノートルダム清心中・広島女学院中の 5 校の志願者に関しては微増にとどまっています。

●「男子御三家」志願者推移

	2020	2019	2018	2017	2016
広大附属中	592	604	617	594	652
広島学院中	648	644	669	698	672
修道中	931	902	995	1056	983
計	2171	2150	2281	2348	2307

100.9%

●「女子御三家」志願者推移

	2020	2019	2018	2017	2016
広大附属中	482	418	474	459	497
ND清心中	570	546	550	553	547
広島女学院中	715	741	752	746	765
計	1767	1705	1776	1758	1809

103.6%

「男子御三家」が 100.9%、「女子御三家」が 103.6%、学校ごとに増減がわずかにあるものの、この 5 校の志願者が前年と比べてほぼ同じだということは、広島の中学受験マーケットのサイズは昨年並みと考えて良いでしょう。

にもかかわらず、2020 年度入試で総志願者数が大幅に増加したのは、単純に「男女御三家」以外の学校が志願者を増やしたからに他なりません。これは入試日程の設定が大きく変わったことが主因です。

■入試の分散・長期化で併願が容易に

●入試日程

日	2020年度	←	日	2019年度
4			4	AICJ〈会場〉
5			5	西大和〈広島会場〉
6	AICJ		6	山陽女〈会場〉
7	城北／国際／山陽女		7	
8			8	
9	愛光		9	愛光
10	西大和〈広島会場〉		10	
11	比治山／国際		11	
12			12	
13	安田		13	
14	協創		14	
15	なぎさ		15	
16			16	
17	AICJ		17	
18	市広／山陽女		18	市立広島
19			19	
20	修道／女学院		20	
21	学院／清心／安田／ 比治山／AICJ		21	
22	広大附属／比治山		22	広大附属／AICJ／協創 安田／比治山／山陽女 崇徳
23			23	なぎさ／AICJ／国際
24	協創		24	城北／女学院／比治山
25	県広／附属東雲		25	清心／比治山／国際／ 山陽女
26			26	修道／県広／山陽女
27			27	学院／附属東雲／協創

※2019 2/3崇徳後期

※2020 2/1山陽女 2/2崇徳後期

広島市の中学入試では、私学が入試解禁日を設定しますが、国立や公立の中学校は独自に日程を決定します。

2019年度の私学の入試解禁日は1月22日(火)に設定され、27日までの6日間に国公立中を含め16校の入試が集中しました。入試日程が重複したり、連続したりしたため、併願したい学校の受験を見送り、受験校数を抑えざるを得ませんでした。こうした状況は私学にとって死活問題と言えるでしょう。

その反省からか、2020年度入試では、解禁日は1月1日に大きく前倒しされました。志願者の多い「男女御三家」や県立広島中は例年通りセンター試験後に入試を設定し、その他の学校はそれ以前に入試を行うことになり、日程の重複は減少しました。受験生にとって、受験校の選択肢が広がり、本命校の前に「前受け」して試験慣れができる機会が増えたことで、各家庭の教育観に応じて併願しやすい状況が生まれました。

●安田女子中志願者推移

2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013
834	423	651	695	655	698	732	733

※2018年まで入試Ⅰと入試Ⅱの2日程で実施

●修道中・県立広島中志願者推移

	2020	2019	2018	2017	2016	2015
修道中	931	902	995	1056	983	1001
県立広島中	912	799	905	924	793	923
	同日				同日	同日

安田女子中は入試を前期と後期の2日程とし、前期は他校との重複がなかったため、志願者が激増。また、修道中と県立広島中はしばしば日程が重複し、併願したくてもできない状況でしたが、2020年度では別日程となり、両校の志願者増につながりました。

■複数回入試、特色入試の利用広がる

2020年度入試に、複数回入試を実施したのは、安田女子中、比治山女子中、山陽女学園中、ひろしま協創中、広島国際学院中、崇徳中の6校。

安田女子中は、2020年で前期と後期の2日程に戻し、いずれの日程にも専願と併願の2方式で募集し、新たに特進コースと総合コースの2コース制を導入しました。

AICJ中は、東医Hと早慶国の2コースを設置し、12月のエリア外での専願の自己推薦入試(163名出願)に加え、1月に本校で3回の入試を実施。受験生は最も都合の良い回で併願でき、また同校を第一志望にする者にとっては4回の受験機会を得ることができます。さらには4教科入試だけでなく、算国+英語入試もあり、英語の得意な受験生は受けやすくなっています。

両校のように、複数回入試を上手に設定することで、多くの学校が志願者を増やしています。

また、広島なぎさ中など多くの学校で専願と併願の両方を募集し、広島国際学院中のように特待生認定を与える入試と公立の一貫校を志望する受験生が受験しやすい適性検査入試を行うなど、様々な特色を持った入試が行われています。

入試期間は延びたものの、それぞれの学力と志向に応じて受験校を選び、さらには複数回入試や特色入試を選択することも可能になったのが2020年度入試です。

●複数回入試と特色入試

複数回入試	協創・国際・崇徳・安田・比治山・山女
専願・併願制	なぎさ・国際・協創・崇徳・安田・比治山・山女
特色入試	AICJ・国際・協創・山女
複数コース制	AICJ・安田

●男子受験動向（英進館鯉城学院実績より）

入試日			出願率	欠席	5校以上	4校	3校以下
1/6	月	AICJ I	14%		74.7%	16.8%	8.4%
1/7	火	広島城北	66%				
1/7	火	国際特待	1%				
1/9	木	愛光	23%				
1/10	金	西大和	9%				
1/11	土	国際適性	5%				
1/12	日	近大附	5%				
1/15	水	広島なぎさ	39%	2			
1/17	金	AICJ II	7%				
1/18	土	市立広島	19%				
1/20	月	修道	99%				
1/21	火	広島学院	89%				
1/22	水	広大附属	79%				
1/25	土	県立広島	23%	9			
1/25	土	附属東雲	10%	4			

\* %は男子塾生全体に対する出願率

出願率から、修道中・広島学院中・広大附属中の3校は大半の男子受験生が志望する学校だとわかります。今年は「前受け候補」が数多くあり、腕に覚えのある上位生は松山の愛光中や西大和学園の広島会場入試のいずれかを選びました。1/18,19の灘中は直後に御三家が続き5日連続受験となるため受験は困難でした。

20日以降にピークをもってくるため、7日の広島城北中、15日の広島なぎさ中の併願が目立っています。その他AICJ中の1回と2回、公立の一貫校である市立広島中が「前受け校」として併願されました。5校以上を出願したのは全体の74.7%にのびります。県立広島中と広大附属東雲中の志望は徐々に増えていますが女子ほどではありません。修道中・広島学院中・広大附属中の結果判明後の試験となるため欠席者が増えるのは無理もないでしょう。

●女子受験動向（英進館鯉城学院実績より）

入試日			出願率	欠席	5校以上	4校	3校以下
1/6	月	AICJ I	20%		60.7%	27.8%	11.4%
1/7	火	国際特待	11%				
1/9	木	愛光	1%				
1/10	金	西大和	1%				
1/11	土	国際適性	14%				
1/11	土	比治山 I	8%				
1/12	日	近大附	3%				
1/13	月	安田前期	64%				
1/15	水	広島なぎさ	29%	2			
1/17	金	AICJ II	6%				
1/18	土	市立広島	30%				
1/20	月	女学院	93%				
1/21	火	N D 清心	85%				
1/22	水	広大附属	68%				
1/25	土	県立広島	35%	8			
1/25	土	附属東雲	21%	9			

\* %は女子塾生全体に対する出願率

女子は広島女学院中・ノートルダム清心中・広大附属中の3校を主軸とする受験となります。枠が狭く難化著しい広大附属中ですが、それでも数多くの受験生がチャレンジします。前受け校は安田女子中の前期入試に集中していますが、AICJ中の1回と2回、広島国際学院中の特待生入試と適性検査入試、広島なぎさ中などから選びます。ただ、男子と比べて前受けする校数は少なめです。一方で県立広島中や広大附属東雲中の志願者は多いものの、広大附属中やノートルダム清心中に合格した場合、受験を棄権する人も少なくありません。

女子は国公立志向がやや強く、出願も強気です。5校以上受験する割合は男子に比べてやや低くなっています。

●志願者・受験者比較

	2020年			2019年		
	志願者数	受験者数	差	志願者数	受験者数	差
広島学院中	648名	635名	13	644名	623名	21
修道中	931名	922名	9	902名	868名	34
ND清心中	570名	562名	8	546名	527名	19
広島女学院中	715名	694名	21	741名	722名	19
県立広島中	912名	824名	88	799名	755名	44

上位人気校が終盤に入試を設定し、入試が分散したことで、2020年度の受験率は上がりました。病欠だけでなく、入試での欠席はそれまでに志望順位の高い学校に合格をもらったことで受験を棄権することから起こります。2019年度では他校合格による欠席が目立ちましたが、今年は多くの学校で欠席が減りました。

県立広島中は修道中と入試日程が重複せず、また広島市の「男女御三家」が全て合格発表を終えたあとの入試になるため欠席者が倍増しました。しかし、見方を変えれば、それでも欠席が88名にとどまったのは同校の人気の高さを示していると言えるでしょう。

●出願校数・受験校数推移（英進館鯉城学院実績より）

		2020	2019	2018	2017	2016
男子	出願校数	5.18	4.88	5.57	5.55	5.42
	受験校数	4.96	4.72	5.17	5.20	5.04
女子	出願校数	4.99	4.75	5.20	4.92	5.04
	受験校数	4.72	4.40	4.28	4.30	4.46

上表の通り、英進館鯉城学院の塾生の受験結果では、男女とも出願校数、受験校数とも前年を上回りました。前述のように、入試の分散、長期化や複数回入試や特色入試の導入が要因ですが、私学の

生徒募集戦略や積極的な広報活動も奏功しているように思います。

学校説明会で受験生や保護者が学校に好印象を持つように工夫を凝らす、学校だけでなく交通のアクセスの良い場所で参加しやすい時間に説明会を行う、学習塾に出向いてそれぞれの学校の良さをアピールする、独自の広報ツールや学校グッズを充実させる等、受験生や保護者とさまざまな接点を設けて自校の魅力を訴求する努力が実を結んだように思います。裏を返せば、多様化する12歳の進路選択において、そうした努力がなければ受験してもらえなくなる危険もはらんでいるということになります。

## ■「男女御三家」を中心にして展開される広島市の中学入試！■

### ■人気難関校で終わる入試

広島市では、修道中・広島女学院中・広島学院中・ノートルダム清心中・広島大学附属中という古くから英才を育ててきた5つの伝統校を中心に中学入試が実施されています。この5校がいつものような入試を行うかによって併願の仕方も大きく変わってきます。

近年、広大附属中は解禁日やその前日に入試を行っており、その後に行われる私学の受験に大きな影響を与えてきました。広大附属中はND清心中・広島学院中と並ぶ広島市最難関校の一つです。定員は120名(男女計)と少なく、特に女子では第一志望とする受験生が多いため、大変狭き門となっています。

広大附属中は、男子は4.9倍、女子は6.9倍(2020年度志願者ベースで算出)もの競争率になる最難関です。当日の手応えが良くなければ気持ちも落ち込んでしまいがちです。また、問題が比較的易しく、当日のちょっとしたミスで不合格になることもあります。2019年度入試では、広大附属中は入試解禁日に入試を実施。合格発表後にノートルダム清心中や修道中、広島学院中の入試が行われたため、広大附属中の合否結果はその後の受験に大きな影響を与えました。

2020年度入試では一転して、広大附属中が1/22(水)に広島市中高一貫校入試のトリを飾る形になり、7年続いていた「最難関校から始まる」入試日程が解消されました。多くの受験生は広大附属中受験の手応えや合否結果に左右されることなく、存分に力を発揮できたのではないのでしょうか。

### ■高い競争率による狭き門

広大附属中は国立の男女共学校として人気を集め、年々入試難度が上がっています。大変厳しい選抜が行われ、「受験しても受からない」と判断して、公立と私立の一貫校にターゲットを絞ってもお

かしくない状況ですが、1000名を超える志願者数は「どうしても受験したい」という受験生の熱い思いが表れた結果と言えます。2020年度は、外部一般志願者が男子11名の減、女子62名の増となりました。女子の大幅増は日程重複が比治山女子中入試Ⅱのみだったことが主因でしょう。

合格者数はその人気を背景に厳しくおさえられています。連絡入学の志向の強い附属小学校からの合格者数に応じて、外部一般受験者の合格者を決めています。2020年度入試では、合格者数が192名、前年よりも30名も減少しています。2019年度では募集定員120名に対して入学者が133名にも及んだため、あえて合格者を減らしたものだと思われます。特に外部一般の女子は452名の志願者に対して合格者は55名に絞られ、8.2倍もの高い競争率で、合格証を手にするのは最も困難な選抜になっています。

附属小学校からの連絡入学には「下駄」をはかせ、外部一般の合格者と学力的に差があると言われた時代もありましたが、近年、外部一般生と内部附属生の差はなきに等しい状態です。2020年度入試における英進館鯉城学院の生徒の結果を見ても、内部附属生で合格した生徒は合格者全体の中～上位に位置しており、ほぼアドバンテージはないと言って良いでしょう。

### ●過去8年広大附属中志願者数推移

内 訳	2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013	
一 般	男子	563	574	587	557	617	587	571	626
	女子	452	390	445	420	460	450	437	558
内 部	男子	29	30	30	37	35	38	39	37
	女子	30	28	29	39	37	40	36	38
計	1074	1091	1053	1149	1115	1083	1259	1191	

### ●過去8年広大附属中合格者数推移

内 訳		2020	2019	2018	2017	2016	2015	2014	2013
一 般	男子	105	130	135	115	125	135	130	100
	女子	55	65	55	60	65	65	65	50
内 部	男子	17	19	14	19	18	17	20	21
	女子	15	8	17	14	14	20	15	25
計		192	222	221	208	222	237	230	196

2020年度入試の問題も国立の広大附属中らしいものでした。広大附属中の入試問題は難問やパターン問題を含む私学型の入試問題とは質が異なります。問題文をていねいに読みこんで、その場で調べながら考え、あきらめることなく解答する姿勢で、4教科ともミスなく得点できるバランスの取れた受験生でなければ広大附属中合格は難しいと言わざるを得ません。

### ■入学手続き日程の延長と補欠の早期繰り上げ

1月6日から入試は始まったものの、多くの受験生が本命前の「前受け」として併願校を受験し、1月20日以降で第一志望の受験を迎えるという流れが主流でした。

早めに入試を行った学校は入学手続き期間をどう設定するかに関心をもちました。安田女子中、広島なぎさ中、広島国際学院中の専願合格者、AICJ中の東医Hコース合格者は早めの手続き締切となりました。専願ゆえ、上位コースゆえに早めに締め切っても無理はないという判断です。一方で、広島城北中の特待生合格者を含む上記以外の併願合格者の手続き締切日は「男女御三家」の合格発表後に設定されました。上位志望校の合格発表前に入学手続き金を収めるのは合格をいただいたとは言えども経済的につらいところです。そうした事情を私学サイドが勘案し、入学手続き締切日を設定したことで、よけいな出費が抑えられたことは幸いでした。

男女御三家の入試が1/20(月)～1/22(水)の三日間に集中したことは、追加合格、つまり補欠の繰り上げにも影響を与えました。

各校定員を充足させるため、追加合格候補、いわゆる補欠を出します。入学手続き書類を取りに来る合格者の数によって、発表直後から繰り上げが始まり、併願校の合格発表と入学手続き、入学辞退に応じてその後も繰り上げは続きます。当然のことながら、追加合格の人数は決まっておらず、年によって大きく異なります。

入学者数は今後6年間の学校経営を大きく左右するため、定員いっぱいにとりたいというのが学校の思いです。その結果、入学定員に欠員が出るたびに追加合格を出すこととなりますが、A校に逃げればB校が、B校に逃げればC校が、というように、追加合格の連鎖、「追加合格ドミノ」が起こります。広大附属中の発表で補欠となった受験生の繰り上がり動向が決定するのは、女子であれば、県立広島中、さらには広大附属福山中の合格発表、そして各校の手続き完了日まで、男子の場合も、広島学院中、修道中への進学決定による辞退者の流れ、県立広島中、そして広大附属福山中の合格発表と入学手続き数次第となります。その途中、合格者の重複する他校でも追加合格が行われるのが通例です。

2020年度入試では、修道中・広島女学院中・広島学院中・ノートルダム清心中は広大附属中の合格発表翌日の1/25(土)にそろって入学手続きを締め切りました。次頁表の通り、広島女学院中はノートルダム清心中の発表直後から、ノートルダム清心中は広大附属の発表日に、広大附属中の発表と広島学院中の繰り上げを受けて修道中が繰り上げを開始しました。

広大附属中は多くの補欠は出すものの繰り上げられないことの多い学校です。2019年は男女とも繰り上げは行われず、補欠者は皆涙を呑みました。2020年度も追加合格はなかった模様で、2月1日に男女とも追加合格終了の通知が早々に届けられました。



●2020年度主要校入試日&合格発表&追加合格繰上日  
(英進館鯉城学院実績より)

		入試日	合格発表日	繰り上がり
1/20	月	修道／女学院		
1/21	火	学院／清心	修道／女学院	城北
1/22	水	附属	学院／清心	女学院
1/23	木		市広	
1/24	金		附属	清心
1/25	土	県広／東雲		修道1／学院／市広
1/26	日			
1/27	月			修道2／市広
1/28	火			
1/29	水		東雲	市広
1/30	木		県広	修道2／市広
1/31	金			修道2
2/ 1	土			※附属繰上終了通知
2/ 2	日			
2/ 3	月			
2/ 4	火			県広

広島学院中の追加合格の連絡は25日の指定時間に行われましたが、今年も若干名にとどまり、多くの候補者が悔し涙に暮れました。修道中は例年100名を超える補欠を出していましたが、今年は80名にとどめています。近年、修道中は人気が高く、広島学院中や広大附属中に合格しても修道中へ進学する受験生が増えています。補欠者には成績により3段階に分けた順位がつけます。2020年度入試では、「補欠1位～23位段階」、「補欠29位～51位段階」、「補欠56位～78位段階」の3段階に分けられました。今年は、最終的には第2段階の一部まで繰り上がった模様です。

市立広島中や県立広島中は定員ちょうどしか合格者を出しません

し、追加合格候補の案内もありません。欠員が出るたびに追加合格の知らせが入ります。正確な数はわかりませんが、現状では例年同様の追加合格が出ているようです。市立広島中や県立広島中といった公立一貫校人気は確かですが、私学との「すみ分け」も進んでいるように思われます。

2020年度入試で補欠繰り上げの動きが早かったのは、第一志望率の高い「男女御三家」の入試日程、合格発表、手続き締切が近いことで例年以上に受験生の動きがつかみやすかったという面があるのではないのでしょうか。

追加合格であっても合格者と何ら差はありません。ただ一度のテストにおいてあと1点、あと1問足りなかつただけで学力差はありません。「宙ぶらりんの状態」に苦しい時間を過ごした分、今後の成長の糧になる貴重な経験をしたととらえてください。

■「入試の分散・長期化」の功罪

2020年度入試では私学の入試解禁日が1月1日になり、1月6日のAICJ中1回から2月2日の崇徳中後期まで一ヶ月間に及ぶ長期日程になりました。第一志望者の多い「男女御三家」までと考えても2週間あまり。この入試の分散・長期化の功罪をどう判定すべきでしょう。

本命前に試験慣れする機会が増えたこと、一人ひとりの学力と志向に応じた併願できること、受験が連続せず、ゆとりを持って試験に臨めること、補欠繰り上げが短期間に行われたことはメリットと考えるべきでしょう。一方で、緊張感を維持するのが難しいことがデメリットかもしれません。不合格に落ち込んだり、合格に気がゆるんだりするのは、十二歳の子どもであれば無理からぬことです。だからこそ、大人のサポートが重要だと言えるでしょう。



## ■中学受験を牽引する私学の魅力

私学には国公立校にはない建学の精神と独自の教育方針があり、わが子の成長にとって大きな意味を持つ中高 6 カ年を優れた環境で、と願う保護者の方は根強くいます。

今、そうした保護者の思いをしっかり受け止めて、より良い学校づくりをすすめようという機運が広島私学で高まっています。

次の文章は、修道中の入試まであと 10 日となる 1 月 10 日に修道中学校の田原校長先生が受験生にあてたものと、1 月 20 日広島女学院中学校の入試当日、渡辺校長先生から受験生に送ったことばです。受験生のそばに寄り添い、不安になりがちな 12 歳の小さな心に火をともし、これこそ私学ならではのメッセージです。

修道中 HP 2020/01/10 [私立学校を受験する君へ]より

寒い日が続いているけど、受験勉強は順調かな？  
年末年始など関係なく、一生懸命に頑張った君にまずは「敬意」を払いたい。  
よくがんばった！！そして今もほんとうにがんばってる！！  
修道の中学入試まであと少し。がんばってるけど、焦るよなあ…、不安だよなあ…。  
修道中学校・修道高等学校の校長、田原がそんな君に応援メッセージを送る。  
元大リーグのイチロー選手、君も知っているとおり超一流のプロ野球選手だ。  
彼はある時期、「首位打者」を目指していた。  
でも途中から目標を「200本安打」に変えた。  
首位打者は他の選手と打率を争う。  
自分が精一杯努力して3割5分打っても、他の選手が3割6分打てば「負け」。  
自分がたいした努力もせずに2割5分しか安打が打てなくて

も、他の選手が2割4分しか打てなかったら、自分の「勝ち」。自分が「成功」するかしないかが他の選手の成績によって決まってしまう。

そこにイチロー選手は何か違和感を感じたのかも…。

自分で決めた目標が「200本安打」だったら、200本以上安打を打てば「成功」。

「200本安打」の目標は、イチロー選手にとっては限界ともいえるレベルの高いもの。

ライバルがイチロー選手以上に安打を打っても「負け」ではない。

自分で決めた目標が達成できたことが「成功」なのだ。充実感もある。

私がイチロー選手の話によって何を言いたいか、賢い君はすでにわかっている。

他者と比較して自分の「成功」を決めるな！ということ。

自分が今までできなかったことを自分の目標にして、そのできなかったことができるようになることが「成功」なのだ。

入試では君の成績に順位がつけられて、まさに他者との比較で合否が決まる。

だからその結果を今から恐れたり、不安に思ったりしなくてよい。

君が今がんばっている受験勉強によって、君は今まで自分ができなかったことができるようになっていく。入試の結果よりも、その日々のひとつひとつの「成功」体験が君にとって一番大切なことなんだ。

君がこれからどこの私学に入学するかは結果を見てから決めればよい。

どこに入学してもこのメッセージで伝えた「成功」体験のことは忘れないでほしい。

私には、小さな「成功」を重ねて成長している未来の君が見え

る。  
まぶしいくらい輝いてるぞ！！  
さあ、ラストスパート、未来のために一つでも多くの「成功」  
を体験しよう。

修道中学校・修道高等学校 校長 田原俊典

※下線は当館による

広島女学院中 HP 2020/1/20

[校長より受験されたみなさまへのメッセージ]より

受験生のみなさんへ

受験生のみなさん、今日までのがんばり、本当にご苦労様でした。あなたが挑戦してきた中学受験で、将来のことを考え、勉強に真剣に取り組んできたことは、とても意義があり、とても尊いことです。また、ご家族や周りの方々が支えてくださったことは、とてもありがたいことでしたね。

あなたが中学生になる今という時は、地球温暖化の問題や少子高齢化の問題など、不安でおおわれているときでもあります。これらの問題は、大人に任せておけば良いものではありません。しかし、目の前にある小さな一つのことを大切にしていくことから、新しい価値観が生まれます。あなたのこれからの歩みこそが、希望なのです。

さて、中学入試は、必ず合格できるものではありません。その結果に、一喜一憂することがあるかも知れません。しかし、4月からの新しい出会いは、あなたを動かします。あなたを支えます。これからもしっかりと前を見て、進んでいきましょう。小学校の残りの生活を大切に、健康に気をつけて、毎日を

過ごしてください。

広島女学院中学校 校長 渡辺信一

※下線は当館による